

製品名: NETO2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87372**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:59 kDa; Observed MW:59 kDa

抗原情報

遺伝子名	NETO2
別名	BTCL2; NEOT2
遺伝子 ID	81831
SwissProt ID	Q8NC67
免疫原	ヒト NETO2 の合成ペプチド

背景

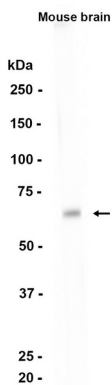
この遺伝子は、2つの細胞外 CUB ドメインとそれに続く低密度リポタンパク質クラス A (LDLa) ドメインを含む、膜貫通タンパク質

をコードしていると推定されています。ラットの類似遺伝子は、カイニン酸受容体の機能を制御することで脳内のグルタミン酸シグナル伝達を調節するタンパク質をコードしています。この遺伝子の発現は、増殖性乳児血管腫のバイオマーカーとなる可能性があります。この遺伝子の偽遺伝子は、8番染色体長腕に位置しています。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011年1月]

研究分野

-

画像データ



NETO2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。